



## しつけの失敗が迷惑犬を招く

犬は群れで生活する動物です。基本的に群れにはボスがいて、ボスに従って行動します。

飼い犬にとっては、飼い主の家族が「群れ」で、飼い主がボスになります。したがって、ボスである飼い主がしっかりとしつけをすれば、その飼い犬は迷惑をかける良い犬となります。逆に飼い主がしっかりとしていないと、犬は「ボス失格」と判断して、わがままになり、様々な問題行動を起こす迷惑犬になります。

「うちの犬は生れつき何にも言うことをきかなくて」というのを聞くことがあります。それは犬の特性や習性を知らないで育てたり、しっかりとしつけをしないで育てたりしたことによるもので、犬が飼い主をボスとして認めていないから起こるものです。つまり、飼い主の飼い方が左右するのです。

## 犬を飼うために

### これだけは覚えておきたい

#### 選 ぶ

犬の種類によって体型や性格、

行動様式が違います。そのため、犬を飼うときには、飼う目的にあわせて選ぶことが大切です。単に「あの犬がかわいい」など見かけだけで選ぶと迷惑犬を作ったり、途中で飼うのを放棄してしまったりということになってしまいます。犬を飼い始めるときは、犬の性格、性別、活動性、大きさ、毛の長短などのほかに飼う人の家族構成や住環境、年齢、体力なども考慮にいれて選びましょう。この場合は犬のことを良く知っている人に相談するとよいでしょう。

#### 子犬を迎える

子犬を家に迎えたときには、できるだけ新しい環境にならすように気をつけましょう。最初は子犬を頻繁に抱いたり、触ったりしますが、これは良くありません。体力のない子犬が元気や食欲をなくすことになってしまいます。迎えたらゆっくり休ませることが、

最も良い対応のしかたです。

#### 食 事

犬は人の食べるものはほとんど食べますが、消化吸収できる範囲が人より狭いなど、消化器官の特徴や必要な栄養量などが人とはかなり違います。したがって、飼い主と同じ食事だけを与えていると、健康を保つことができず、様々な病気を起こすことになってしまいます。そこで、健康に飼うには、犬にあったバランスの良い食事を与えることが大切です。

また、食事を与える回数は、生後三カ月までは一日三から四回で、徐々に減らしてゆき、成犬になったら一日一回か二回でよいでしょう。与える量は、犬の種類や運動量、季節によって異なります。食べ残すようだったら次回から量を少し減らし、まだ欲しいようであれば減らさずなど、状況を見ながら加減するのがよいでしょう。

#### 社 会 化

犬は環境や育て方次第でその性

格や行動のほとんどが決まります。家に迎えた犬はもう家族です。子犬のときはよく世話をし、一緒に遊んでやるなど、優しい態度でできるだけ時間を割いて接することが大切です。そうすれば急速に人になれます。

また、人と接する機会を多くすると、人を自分の仲間と思うようになります。耳や口、足、尾にも十分に触りましょう。そのことによって、犬は人に触れることが怖くないということを学習します。生後三カ月を過ぎたら散歩に連れ出し始めるよい時期です。最初は静かで、刺激の少ないところから始め、見知らぬ人や他の犬などになれさせ、徐々に人込みや車などにもならしていくようにしましょう。こうした豊富な体験を積んだ犬は社会性に富み、落ち着いた犬に育ちます。

